

メアブッシュ便り～第3号

●ひまわりの日曜日 (Sonnenblumen-Sonntag)

メアブッシュ市・ビューダリヒ地区で、第6回目となる「ひまわりの日曜日」が2012年9月16日に開催されました。

晴天に恵まれ1万人以上が集まりました。メアブッシュと四條畷という独日友好都市の展示は大型パビリオンで開催され大勢の来場者が訪れました。



オープニングに続くメアブッシュ市・ランク地区の一座「てんてこ太鼓」の演奏で、雰囲気は大いに盛り上がりました。その後、日本の美食とお酒が振舞われ、書道や生花、折り紙のワークショップや、日本語速習コースも開催され、マンガコーナーもオープンしました。

コスプレイヤーの姿も見られました。最後には、日本クイズの優勝者の表彰式が行われました。



メアブッシュ便り～第3号

●ムッキーズ—青少年育成のためのメアブッシュ企業カップ

(MUCKIS – Meerbuscher Unternehmer-Cup für Kids 2012)



2010年から、メアブッシュでは年に1度青少年育成のために地元企業サッカーチームのトーナメント「メアブッシュ企業カップ・ムッキーズ」が開催されています。トーナメントは、メアブッシュ商工振興会とサッカーチームとのコラボによって運営されています。

トーナメントには、毎年多数のチームが参加します。今年は23チームがエントリーしました。

メアブッシュ市のチームもエントリーし、2012年10月3日に「アム・アイゼンブラント」スタジアムでトーナメントが開催され、600人の観衆で大いに盛り上がりました。エントリー料は各チーム250ユーロ（約3万円）です。収益金は、青少年育成のために使われます。

純収益金3,850ユーロは、メアブッシュ市・シュトゥルンプ地区にあるサッカーチーム「SSV Strümp」の青少年部に寄贈されました。未来のキッカーのために、新しいクラブハウスの一角に専用のレクチャールームと談話室が完成しました。



●2. メアブッシュ シニアフェア (2. Meerbuscher Seniorenmesse)

「いつまでも元気に」をモットーに、2012年10月21日、メアブッシュ市・シュトゥルンプ地区にある高等学校で、シニア向け見本市が開催されました。

1000人を超える人が会場を訪れ、42社の出展ブースで、最新のトレンドに深い関心を示していました。

シニア世代に関する一般的なテーマと並行する形で、今年が高齢になっても心身ともに元気で過ごすにはどうしたらよいのかに的を絞った展示が重点的に行われました。



メアブッシュ便り～第3号

様々なスポーツクラブやアドバイス機関、警察や交通監視機関をはじめとする多彩な機関がブースを構え、来場者は興味深く話に耳を傾けていました。

また、「生涯精神的に健康に」あるいは「iPadと私・タッチスクリーンとの簡単な付き合い方」といった講演をはじめ、気功や弓道、ダンスなどのワークショップも開かれ、来場者もその場で飛び入り参加していました。シニアフェアは、高齢化社会に順応するための方策として、市が力を入れている重点項目の1つでもあります。



●外国人に対する敵対心に警鐘を鳴らすためにアーティストが制作したポスターウォール (Plakatwand Künstler gegen Ausländerfeindlichkeit)

「外国人に対する敵対心に継承を鳴らすアーティストのポスターウォール」が、メアブッシュ市・ビューダリヒ地区のドルフ通りに建てられて20年になります。1993年にドイツの町ゾーリングゲンでトルコ人一家が放火された事件がおき、これを機にメアブッシュ市のアーティストたちが外国人に対する敵対心に継承を鳴らす運動を始めました。

ポスターウォールは、人々に連帯感と寛容の精神を喚起するためのもので、メアブッシュのアーティストが定期的に刷新を行っています。2012年10月には、日本生まれの画家で彫刻家、写真家でもあるマスマ・ヒロユキ氏がこのポスターウォールに新たな顔を付け加えました。



この作品は、365日間続けた写真撮影の結果完成したものです。自分自身を撮影し、次の日には前日に写したポートレートを手を持って、毎日自分自身を重ね撮りする手法を365日間くりかえして出来上がった作品です。

日本人アーティストのマスマ氏は、自らのポートレートでポスターウォールに新たな顔を追加しました。2013年7月までこのニューフェイスを見ることができます。

メアブッシュ便り～第3号

●ドイツ式ボーリングレーンがパン焼き場に (Kegelbahn wird Backstube)

2012年12月10日ドイツ人と日本人の子供たちがメアブッシュにあるレストランのドイツ式ボーリングレーンに集まり、クリスマス用のクッキーを一緒に作りました。クリスマスに備えて焼き菓子を作るという習慣は、日本の子供たちにとっては目新しいものだったようです。子供たちは、みんな真剣な眼差しで一心不乱に生地をこねたり、棒でのぼしたりして、とても楽しそうでした。

この催しの後、メアブッシュ市での多種多様な活動をとおしてドイツと日本の友好を深めていくことに関心を抱く人々を発起人に、友の会が創設されました。この友の会は、シュピンドラー市長の後援で行われています。



●友好都市のネームプレート (Schilder zur Städtepartnerschaft)



ドイツでは、町の入口に友好都市のネームプレートを掲げて広く告知するのがごく当たり前のことになっています。

四條畷市との友好都市提携を機に、デザインも一新されたネームプレートがお披露目されることとなりました。昨年末から、市内の主要道路でフランスの友好都市フォースナンと並んで、日本の四條畷との友好関係を示すネームプレートを目にすることができるようになりました。

メアブッシュ市 2013年2月11日